

取扱説明書

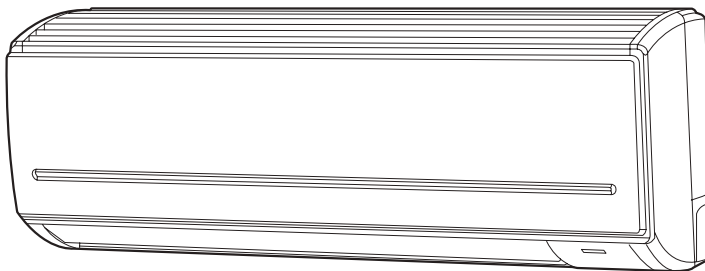
形名

RAS - LJ28W形・室内機RAS - LJ28W形／室外機RAC - LJ28W形

RAS - LJ36W形・室内機RAS - LJ36W形／室外機RAC - LJ36W形

RAS - LJ40W2形・室内機RAS - LJ40W2形／室外機RAC - LJ40W2形

RAS - LJ50W2形・室内機RAS - LJ50W2形／室外機RAC - LJ50W2形



インバーター

冷房・暖房

除湿タイプ

<セパレート壁掛形>

はじめに

このルームエアコンは、一般家庭の人を対象とした空調を目的としたものです。食品・動植物・精密機器・美術品・医薬品等の保存など特殊用途には使用しないでください。また、能力以上の負荷で使用しないでください。

もくじ

ご使用の前に	安全上のご注意.....2	上手な使い方	お手入れ.....12
	●据え付け上の注意事項.....2		知っておいていただきたいこと.....13
	●使用上の注意事項.....3、4、5		上手な使い方.....14
	●移設、修理時の注意事項.....5		
基本的な使い方	各部の名称と働き (1) 室内機／室外機.....6、7	アフターサービス	故障かな?と思ったら.....15
	各部の名称と働き (2) リモコン.....8		保証とアフターサービス.....16
●運転をするには.....9	定期点検.....17		
便利な使い方	●クリーン運転をするには.....10		据え付けについて.....18
	●風向の調節をするには.....10		仕様.....19
	●タイマー予約運転をするには.....11		付属部品・別売部品について.....19
			お客様ご相談窓口.....裏表紙

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
小さいお子様などにつきましても安全のために、警告・注意に記載されている部分に触れることのないようくれぐれもご注意ください。





安全上のご注意 必ずお守りください。



ご使用前に










お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。
 ■表示と内容を無視して誤った使い方をしていたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

-  **警告** この表示の欄は、「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。
-  **注意** この表示の欄は、「傷害を負うおそれまたは物的損害を生じるおそれがある」内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です)

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。		このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。
---	----------------------------	---	-------------------------------

●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保存してください。

 警告	
据え付け上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ●改造は行わない 改造を行いますと、水漏れ・故障・感電・火災の原因になります。 <div style="text-align: right;"> 禁止</div>
	<ul style="list-style-type: none"> ●据え付けは、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災の原因になります。 <div style="text-align: right;"> 強制</div>
	<ul style="list-style-type: none"> ●アース（接地）を確実にを行う ●アース工事は、販売店または専門業者に依頼する アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線などに接続しないでください。 アースが不完全な場合は、感電の原因になります。 <div style="text-align: right;"> アース線接続</div>
 注意	
	<ul style="list-style-type: none"> ●湿気の多いところ、雨水など水気のあるところに設置するときは、漏電しゃ断器を取り付ける 漏電しゃ断器が取り付けられていないと、感電の原因になることがあります。 <div style="text-align: right;"> 強制</div>
	<ul style="list-style-type: none"> ●可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へは、設置しない 万一ガスが漏れて室外機の周囲にたまると、発火して火災の原因になることがあります。 <div style="text-align: right;"> 禁止</div>
	<ul style="list-style-type: none"> ●除湿水は、確実に排水できるようにする 排水経路に不備があると、室内・室外機から水が滴下し、家財などを濡らす原因になることがあります。 <div style="text-align: right;"> 強制</div>
	<ul style="list-style-type: none"> ●指定以外の電源に接続しない 指定以外の電源を使うと、発熱し、火災の原因となります。 <div style="text-align: right;"> 強制</div>



警告

使用上の注意事項

- 長時間冷風を身体に直接当てたり、冷やし過ぎたりしない
体調悪化や健康障害の原因になります。



- 電源プラグは、ホコリが付着していないか確認し、ガタつきやホコリがたまらないように刃の根元まで確実に差し込む
ホコリがたまった状態での使用や、接続が不完全な場合は感電や火災などの原因になります。



- 電源コードは、途中で接続したり、延長コードの使用・他の電気器具との
タコ足配線やステップルなどでの固定を行わない
また、つっぱらないようにゆとりを持たせて配線する
感電や火災などの原因になります。



- 電源コードは、束ねたり・引っ張ったり・物を載せたり・加熱したり・
加工したり・物と物の間にはさんだりしない
電源コードが破損する原因になります。
傷んだまま使用すると、感電や火災などの原因になります。



- 室内・室外機の吹き出し口や吸い込み口をふさいだり、指や棒などを入れない
内部でファンが高速回転しておりますので、けがや故障の原因になります。
また、性能が低下します。



- 電源プラグの抜き差しにより、エアコンの運転や停止をしない
感電や火災の原因になります。



- 異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源プラグを抜き（またはブレーカーを“OFF”にして）お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご依頼する
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。



- 安全器のヒューズの代わりに、針金や銅線などを使わない
故障や火災の原因になります。



- 落雷のおそれがあるときは、運転を停止し、電源プラグを抜く
（またはブレーカーを“OFF”にする）
落雷の程度によっては、故障の原因になります。



- エアコンが冷えない、暖まらない場合は冷媒漏れが原因のひとつとして考えられるので、お買い上げの販売店に相談する
冷媒追加を伴う修理の場合は、修理内容をサービスマンに確認する
エアコンに使用されている冷媒そのものは無害です。万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒータ、ストーブ、コンロ等の火気に触れると有害な生成物が発生します。刺激臭があるときにはすぐにエアコンを停止し窓等を開けて換気し、販売店にご連絡ください。





⚠ 注意

- このエアコンは、一般家庭の人を対象とした空調を目的としたものですので、食品・動植物・精密機器・美術品・医薬品等の保存など特殊用途には使用しないこれらの品物の品質低下の原因になることがあります。



禁止
- ぬれた手で、スイッチを操作しない
感電の原因になります。



ぬれ手禁止
- 燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気を行う
換気が不十分な場合は、酸素不足の原因になることがあります。



強制
- エアコンの風が直接あたる所に、燃焼器具を置かない
燃焼器具の不完全燃焼の原因になることがあります。



禁止
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かない
コードの内部が断線して、発熱し火災の原因になることがあります。



禁止
- 長期間の使用で、傷んだままの据付台などで使用しない
室外機の落下につながり、けがなどの原因になります。



禁止
- エアコンを水洗いしたり、花瓶などの水の入った容器をのせたりしない
漏電によって、感電や発火の原因になります。



禁止
- 動植物に直接風があたる場所には設置しない
動植物に悪影響を及ぼす原因になることがあります。



禁止
- 掃除をするときは必ず運転を停止し、電源プラグを抜く
(またはブレーカーを“OFF”にする)
内部でファンが高速回転しておりますので、けがや故障の原因になります。



強制
- 長期間使わない場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く
ホコリがたまって発熱し火災の原因になることがあります。



プラグを抜く
- 室外機の上に乗ったり、物を載せたりしない
落下や転倒などにより、けがの原因になります。



禁止
- エアコンの下に他の電気製品や家財などを置かない
水滴が滴下する場合があります、汚損や故障の原因になることがあります。



禁止
- 冷房運転時、窓や戸を開放した状態（部屋の湿度が80%を超えたまま）などで長時間運転したり、風向スイング運転または、上下風向板を下向きにしたままで長時間運転をしない
上下風向板に露がつき、ときには露が落ち、家財などを濡らす原因になることがあります。



禁止
- 能力以上の負荷（冷房・暖房能力以上の広い部屋や多勢の人が居るなど）で使用しない
設定温度に達しないことや、露が落ちて家財を濡らす原因になることがあります。



禁止

安全上のご注意 (つづき)



⚠ 注意

使用上の注意事項

- エアコンの洗浄には専門技術が必要なため、お買い求めの販売店に相談する市販の洗浄剤などを使用しますと、樹脂部品の割れや排水経路の詰まりに至ることがあり、水たれや感電の原因にもなります。また、洗浄剤が電気品やモーターにかかると、故障・感電や火災の原因になります。



強制

- 室外機の吸い込み口や底面・アルミフィンにさわらない
けがの原因になります。



接触禁止



- 冷媒配管パイプや接続バルブにさわらない
やけどの原因になります。



接触禁止



- エアコンの清掃時には、手袋を着用する
けがの原因になります。



強制

⚠ 警告

移設・修理時の注意事項

- 修理は、お買い上げの販売店または、修理窓口に依頼する
ご自分で修理をされ不備があると、感電や火災の原因になります。



強制

- エアコンを移動・再設置する場合は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口
に依頼する
ご自分で移動・再設置され、不備があると、感電や火災の原因になります。



強制

各部の名称と働き (1)



ご使用前の前に

室内機

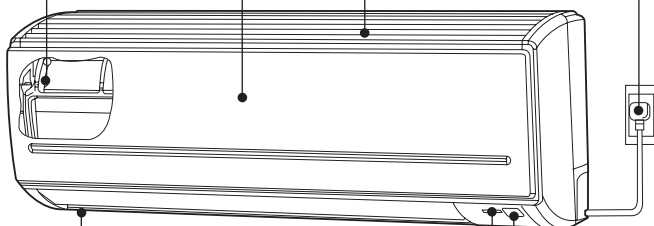
プレフィルター

【マイクロメッシュステンレスフィルター】
(内部にあります)
空気中のチリやホコリなどをキャッチ
します。
(P.12ページ)

フロントパネル

上面グリル

電源プラグ



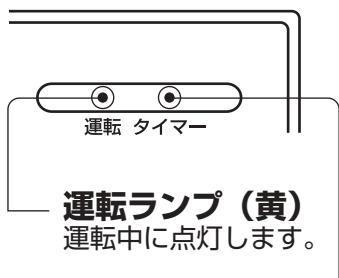
上下風向板／左右風向板
(吹き出し口)
(P.10ページ)

受信部

リモコンからの信号を受信します。

表示部

室内機表示部



運転ランプ (黄)
運転中に点灯します。

タイマーランプ (橙)
タイマー予約時に点灯します。
(P.11ページ)



暖房運転時、次の場合に運転ランプが点滅し、超微風運転、または風が止まる場合があります。(故障ではありません)

予熱運転

運転開始後の2～3分間で室内機の熱交換器を暖めます。

霜取り運転

室外機の熱交換器に霜が付くと一旦、暖房運転を停止し、霜取り運転を行います。霜の付き方によって違いますが、およそ10分程かかり、最長時間は20分です。ご使用条件により霜取り運転に入る頻度が変わります。

室外機

吹き出し口

“暖房”運転時には冷風を、“冷房”“除湿”運転時には温風を吹き出します。

排水ホース

“冷房”“除湿”運転時に室内機からの除湿水を室外へ排水します。

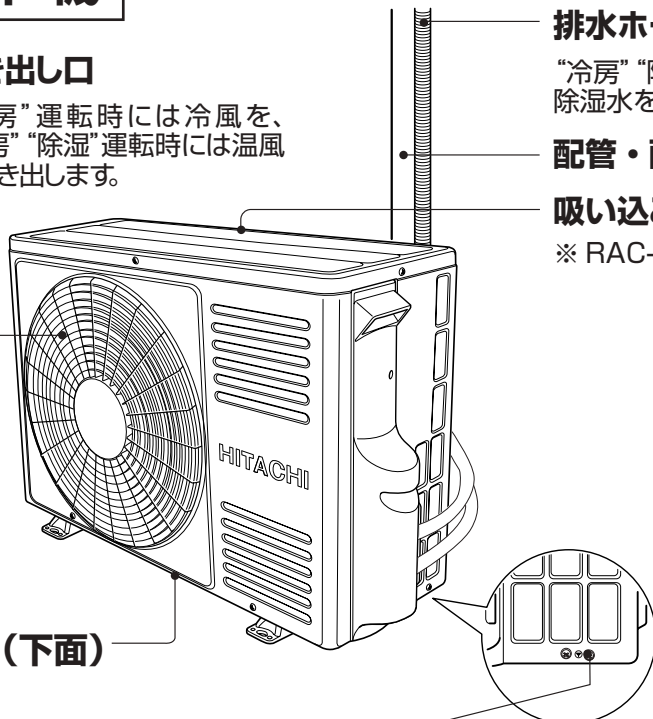
配管・配線

吸い込み口 (背面と左側面)

※ RAC-LJ40W2、RAC-LJ50W2は背面と両側面

排水口 (下面)

アース端子 (側面下部)



室外機について

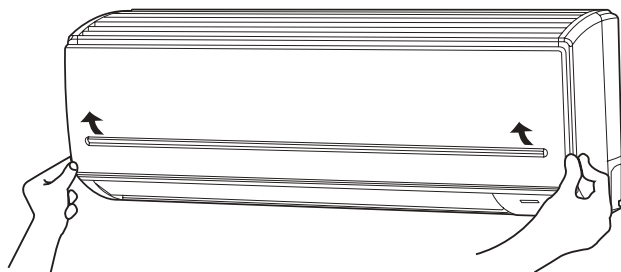
- 運転を「停止」にしても、室外機のファンは電気部品を冷やすために10～60秒間回り続けます。
- 暖房時には、室外機より凝縮水や霜取り時の水が流れ出ます。寒冷地ではこれらの水が氷結してしまうこともありますので、室外機に設けてある排水口をふさがないでください。

各部の名称と働き (1) (つづき)



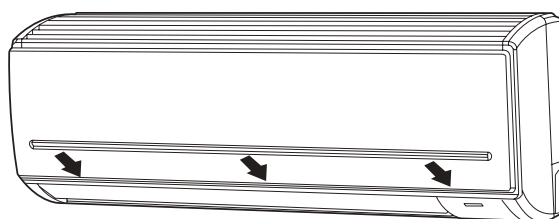
フロントパネルの開閉のしかた

開ける



- フロントパネルの左右側面下部を必ず両手で持ち、手前に引き上げ止まるまで開けます。

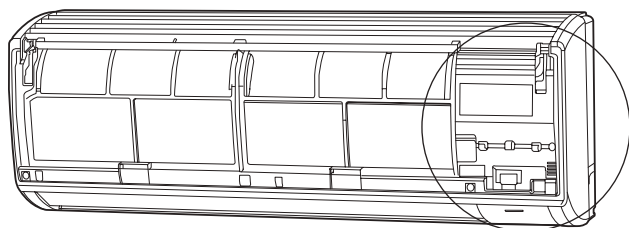
閉める



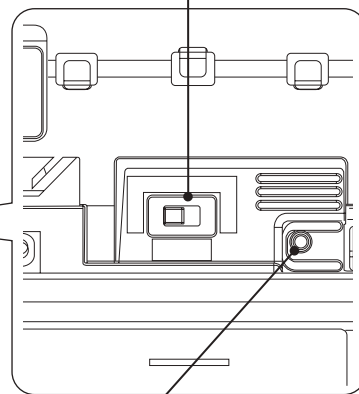
- フロントパネルを必ず両手で持って閉じたあと、矢印部 (3カ所) を押します。

室内機操作部

- フロントパネルを取り外した状態です。
(フロントパネルの取り外しかたは 12ページ)



電源スイッチ
(待機電力カットスイッチ)



応急運転スイッチ

⚠ 注意

長期間使わないときは、電源スイッチを「切」にする。また、室外機から電源を取っている場合は、必ずブレーカーを切る。

- ☆ 電源が入っていると運転していなくても、制御回路内で微少ですが、電気を消費します。電源スイッチ (室外機より電源を取っている場合はブレーカー) を切ることで、節電効果があります。
- ☆ 電池切れなどで、リモコンが使えないとき、応急運転スイッチを押すと、応急運転を行います。
応急運転は、前回の運転内容で運転します。(但し、電源を入れた直後は温度に応じた運転を行います)

各部の名称と働き (2)



ご使用の前に

■ 運転内容、タイマー予約内容などを室内機に送信します。

リモコン

送信マーク

送信したとき、点灯します。

風速表示

設定した風速を“—”で示します。

リセットスイッチ

電池交換した後や、動作が正常でないときに押してください。

運転種類表示

現在の運転の種類を“▼”で示します。

停止ボタン

運転を停止します。

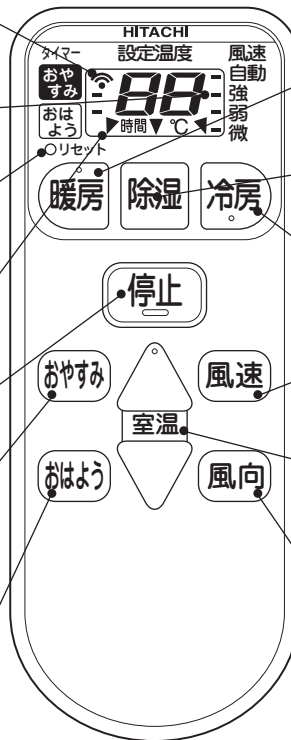
おやすみタイマー運転ボタン

おやすみタイマー運転を開始します。
(P.11ページ)

おはようタイマー運転ボタン

おはようタイマー運転を開始します。
(P.11ページ)

送信部



☆ 図の液晶表示は乾電池を入れた直後の表示を示します。

本ルームエアコンには無い機能も表示されます。

暖房ボタン

暖房運転を開始します。(P.9ページ)

除湿ボタン

除湿運転を開始します。(P.9ページ)

冷房ボタン

冷房運転を開始します。(P.9ページ)

風速切換ボタン

風速を選びます。(P.9ページ)

室温設定ボタン

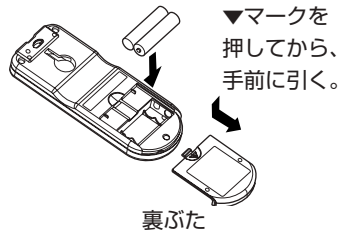
室温を設定します。押し続けると早送りになります。(P.9ページ)

自動風向ボタン

上下風向板をスイングさせたり、お好みの角度に変えます。(P.10ページ)

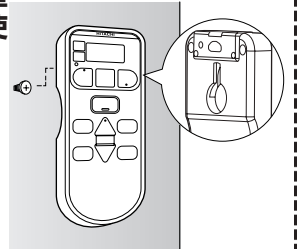
リモコンの準備

- 裏ぶたを開け、乾電池を入れる。
(単4形を2本お使いください。)
- 裏ぶたを閉める。
- リセットスイッチを押す。



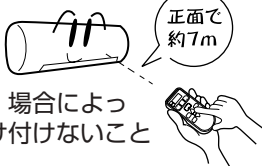
裏ぶた

付属のねじで柱や壁などに取り付けて使うこともできます。事前に受信できることを確かめてから取り付けてください。



リモコンを操作するとき

- 操作は、室内機の受信部に向けて。受信できる距離は、正面で約7m。ただし、室内に電子点灯形の照明器具がある時は受信距離が短くなる場合があります。場合によっては信号を受け付けないことがあります。
- リモコンは、はいていねいに扱ってください。落としたり、水がかかったりすると送信できなくなる場合があります。



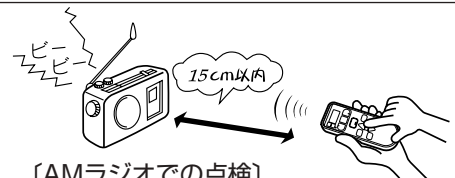
乾電池について

- 乾電池の寿命は、普通の使い方です。ただし、乾電池の「使用推奨期限」に近いものは、乾電池の交換が早くなる場合があります。また、付属の乾電池はモニター一用です。
- 液晶表示がうすくなったら乾電池を取り換えてください。
- 乾電池を交換した後や、動作が正常でない場合は、必ずリセットスイッチを押してください。
- 乾電池を誤って使うと、液漏れや破裂の危険があります。乾電池の注意文をよく読み、次の点に特に注意してご使用ください。
 - 乾電池の+(プラス)、-(マイナス)の向きは、器具の表示どおりに正しく入れる。
 - 新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使わない。
 - 長期間(1ヵ月以上)使用しないときは、乾電池を取り出しておく。万一液漏れしたときは、よく拭き取ってから、新しい乾電池を入れてください。

リモコンの点検

■ 新しい乾電池と交換しても動作が正常でない場合は、リモコンの点検をしてください。

(AMラジオの電源を入れた状態で、リモコンを操作したとき、信号音(ピーピー音)が入れば正常です)



[AMラジオでの点検]

運転をするには



暖房・除湿・冷房 ボタンのいずれかを押す

- “ピッ” という受信音がして、運転を開始します。

停止 ボタンを押す

- “ピー” という受信音がして、運転を停止します。

風速をセットするには



風速 ボタンを押す

- 運転の種類によって次のように選べます。
 - 暖房運転 } のとき：自動・強・弱・微
 - 冷房運転 }
 - 除湿運転のとき：“微” 固定

室温をセットするには



■ リモコン設定温度範囲

- 16℃～32℃までセットできます。
(20℃で“ピピッ”という受信音がします。)
(30℃で“ピピピッ”という受信音がします。)

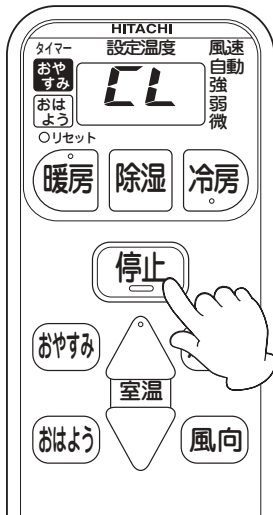
■ 次の条件のご使用がおすすめです。

暖房	除湿	冷房
● 外気温-10℃以上、21℃以下 (-10℃未満のときや、24℃を超えるときは) 機械保護のため、運転しないことがあります	● 室温16℃以上 ● 外気温10℃以上	● 外気温22℃～43℃

風速 “自動” について

暖房時	冷房時
● 運転開始時に、室温と設定温度の差が大きいとき、“強風” 運転します。 ● 吹き出す風の温度に応じて自動的に風速が変わります。 ● 設定温度になると、ごく弱い風になります。	● 運転開始時に、室温と設定温度の差が大きいとき、“強風” 運転します。 ● 設定温度に到達すると“弱風” に切り換わります。

クリーン運転をするには



- 冷房シーズン終わりのときに、クリーン運転を行いますと、室内熱交換器を乾燥しカビの発生を抑えます。
(発生したカビを除去する働きや、殺菌効果はありません)

停止中に **停止** ボタンを3秒間押す

- “ピー” という受信音が生じ、約3秒後にリモコンに「CL」が点灯し、“ピッ” という受信音とともにクリーン運転を開始します。
- クリーン運転中は、室内機表示部の「運転」ランプが点灯します。
- 約30分の運転を行って自動的に停止します。
- 運転中、タイマー予約中は設定できません。

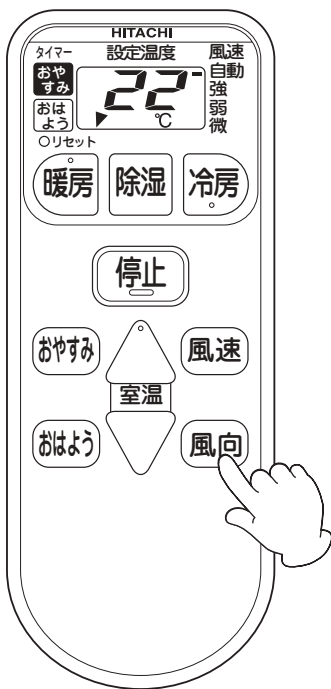
取消し **停止** ボタンを押す

風向の調節をするには



- 上下の風向—必ずリモコンで操作してください。(手で動かすと、故障の原因になります)

便利な使い方

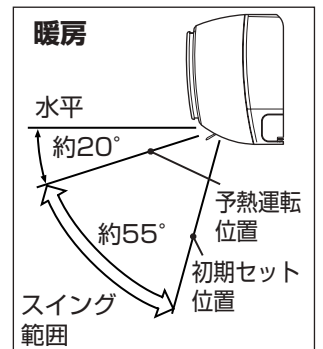
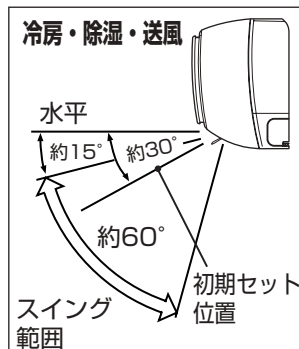


自動セット

- 運転の種類に応じた風向に自動的にセットします。
通常、上下の風向操作は特に必要ありません。

上下お好み風向

- 上下の風向をお好みの角度にしたいときは、**風向** ボタンで上下風向板を動かし、お好みの位置になったら、もう一度 **風向** ボタンを押して止めてください。
- 運転を停止すると吹き出し口を閉じますが、再び運転すると前回選んだ位置のままでセットされます。ただし、電源スイッチを切ったり、電源プラグを抜いた後、運転すると上下風向板は初期値にセットされます。
- 運転を切り換えると、運転の種類に応じた風向に自動セットされます。
- 風向は図の調節範囲内でお使いください。

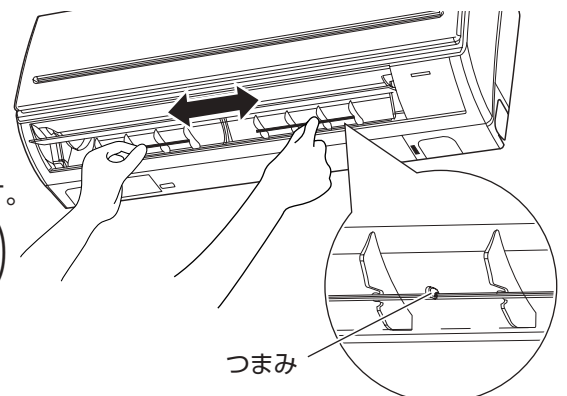


上下風向スイング

- **風向** ボタンを押すと、“ピッ” という受信音が生じ、上下風向板がスイングを繰り返します。
- 運転を停止するとスイングは止まり、吹き出し口を閉じます。再び運転すると、運転の種類に応じた風向に自動セットされます。
(風向板が動き出すまで6秒ぐらい時間がかかることがあります。これは風向板の位置を正しくセットする確認動作のためです。)

■ 左右の風向—手で操作します。

- 図のように、つまみを持って左右の風向を調節します。



タイマー予約運転をするには



■ タイマーは **おやすみ** タイマー・ **おはよう** タイマーの2種類の使いかたができます。

(**おやすみ** タイマー・ **おはよう** タイマーは同時に予約することはできません。
 運転の種類・室温・風速の設定は 9ページをご覧ください。)

おやすみ タイマー予約のしかた

■ “風速” を就寝時に適した運転にし、指定した時間になると運転を停止するタイマー運転です。

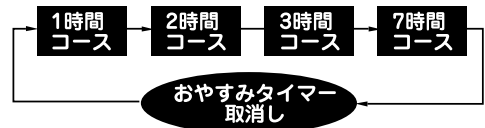


★表示は、2時間コースをセットした例です

- **おやすみ** ボタンを押すだけで、1・2・3・7時間の中から好みの時間が選べます。

おやすみ ボタンを押す

- **おやすみ** ボタンを押すたびに右のように変わります。



- “ピッ” という受信音がして、おやすみ運転を開始します。
リモコンの表示部に、おやすみタイマーの予約時間が表示されます。
- 約1時間後、上下風向板がおやすみ位置にセットされます。

おやすみ ボタンを押して取消す

取消し

- “ピピッ” という受信音がして、タイマー予約を取消します。

おはよう タイマー予約のしかた

■ セットした時間に設定室温となるよう運転を開始します（運転開始時間は、室温・設定室温等、条件により異なります）

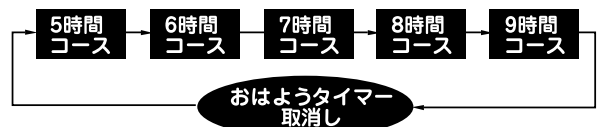


★表示は、5時間コースをセットした例です

- **おはよう** ボタンを押すだけで、5・6・7・8・9時間の中から好みの時間が選べます。

おはよう ボタンを押す

- **おはよう** ボタンを押すたびに右のように変わります。



- “ピッ” という受信音がして、おはよう運転を開始します。
リモコンの表示部に、おはようタイマーの予約時間が表示されます。

おはよう ボタンを押して取消す

取消し

- “ピピッ” という受信音がして、タイマー予約を取消します。

便利な使い方

お手入れ



! **注意** お手入れの前には、リモコンで運転を停止して、電源プラグを抜く
(または、ブレーカーを“OFF”にする)

■ フロントパネルのお手入れのしかた

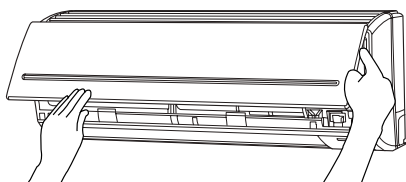
- フロントパネルをはずす。
- 水洗いする。
汚れが目立つときは、うすめた中性洗剤で洗ったあと、よく水洗いしてください。
強くこすったり、スポンジやたわしなどで洗わないでください。傷つく恐れがあります。
- やわらかい布で、水分をふき取るか陰干しする。水気が残っていると故障の原因になります。
- フロントパネルを外さないでお手入れする場合は、本体・リモコンともに、やわらかい布でから拭きしてください。
化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

! **注意** ● 不安定な台に乗って掃除しない 転倒などによるケガの原因になります。
● 本体に水をかけない 感電の原因になります。
● エアコン内部の清掃をする場合には、お買い求めの販売店に相談する

フロントパネルの着脱のしかた

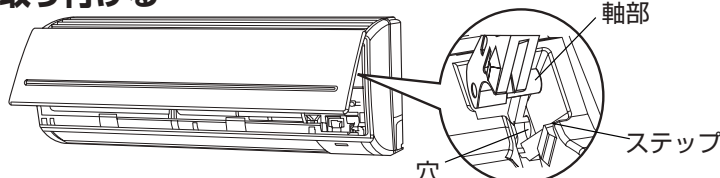
● フロントパネルの着脱は必ず両手で行ってください。

はずす



- 両手でパネルを開ききったところで右側アームの奥を内側に押し外したあと、少し閉じながら手前に引いてください。

取り付ける



- フロントパネルの左右のアームの軸部を、本体のステップに沿って穴に入るまでしっかりと差し込みます。確実に取り付けられていることを確認したのち、フロントパネルを閉じます。

■ 必ずプレフィルターのお掃除を。電気代の節約にもなります。

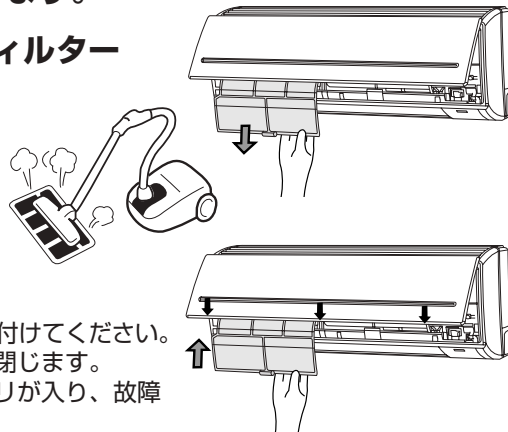
1 フロントパネルを止まるところまで開け、プレフィルターを取り出す (フロントパネルの開閉のしかた 7ページ)

2 掃除機でホコリを吸い取る

- プレフィルターの汚れがひどく掃除機で取れないときは、中性洗剤で洗ったあと、よく水洗いをして、陰干ししてください。

3 プレフィルターを取り付ける

- プレフィルターは (前) 表示のある方を手前にしてツメの内側に取り付けてください。
- プレフィルターを取り付けたあと↓部を押してフロントパネルを閉じます。
- プレフィルターを外したまま運転しないでください。機械にホコリが入り、故障の原因になります。



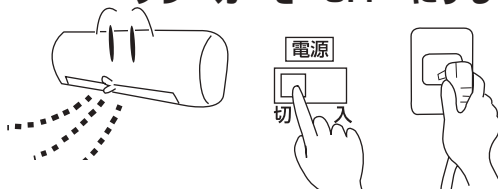
! **注意** ● フロントパネルが、ガタついているとパネルが外れ、落下するおそれがあります。
● プレフィルターを外したまま運転しないでください。機械にホコリが入り、故障の原因になります。
● プレフィルターの取り外し・取り付けの際、熱交換器のフィンで手などを切らないように十分ご注意ください。

■ 長期間 (1ヵ月以上) 使わないときは、次の手順でお手入れを。

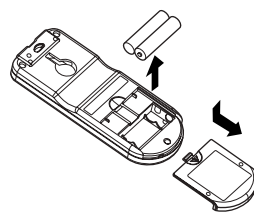
1 室内機の内部を乾かす

- クリーン運転をしてください。
(10ページ)
内部がぬれたままで長期間使わないとカビが発生しやすくなります。

2 電源スイッチを“切”にして、電源プラグを抜く。または、ブレーカーを“OFF”にする



3 リモコンの乾電池を取り出す



知っておいていただきたいこと



■各部の名称と働き (P.6 P.7)

暖房の能力について

- このルームエアコンは、外気の熱を吸収して室内に運び込むヒートポンプ暖房を行いますので、外気温が下がるにつれて暖房能力は低下します。この場合はインバーターの働きで、圧縮機の回転数を上げて能力の低下を防ぎますが、それでも暖まりの悪いときは、他の暖房器具と併用してください。
- エアコン暖房は、部屋全体を暖める暖房ですので、暖かく感じるまで時間がかかります。タイマーで早めに運転しておくことをお勧めします。(P.11ページ)

冷房の能力について

- 室内に冷房能力以上の熱源（多くの人や居る・熱器具を使う）がありますと、“設定温度”に到達しないことがあります。
※配管が長いと、暖房・冷房の能力が低下します。

■運転をするには (P.9)

- 運転を開始する前のリモコン操作で、風速・室温をセットした後、ボタンをはなすと、約10秒後にそれらの表示が消え、運転の種類だけの表示になります。
- 運転中に運転の種類を変更すると、保護回路が働いて約3分間運転しません。
- 暖房運転時、室内機の運転ランプが点滅し、しばらく風が出ないことがあります。(P.6ページ)
- 暖房の風速“強”運転時、風が冷たく感じる場合や部屋が暖かくなった後に静かな運転を行いたい場合は、風速“自動”でお使いになることをお勧めします。
- 風速“微”運転時は、能力が少し低下します。
- 暖房運転の風速“微”・“弱”では、運転条件によって、風速が変化することがあります。
- 除湿運転時、室温が下がり、室外機が停止すると室内機の送風も止まります。
また、室温が上がると、室外機が運転しても約30秒ほど室内機から風が出ません。

■タイマー予約運転 (P.11)

- タイマー予約したときにリモコンの送信をエアコンが受信しないと、タイマー時間がきても、エアコンは動作しません。室内機の受信音と室内機のタイマーランプで、タイマー予約したことを確認してください。(P.6ページ)
- 停止中におやすみタイマーを予約すると運転を開始します。

■寝苦しいときは

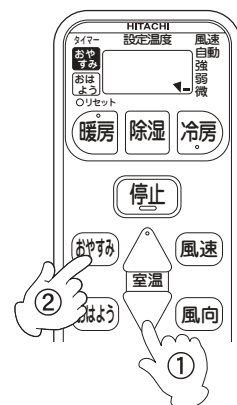
おやすみタイマー（1・2・3時間）を利用して冷房・除湿運転を行った時に室温を監視し室温が高くなると1時間だけ再運転を行うことができます。
(1hモアタイマー)

- ① エアコンを停止状態で「室温ボタン」の下側の下げるボタンを2秒以上押し続ける。
- ② ①の状態ではエアコンに向かって「おやすみボタン」を押す。
- ③ 「ピッ」と受信音がして設定が完了となります。

上記設定を行った場合

- おやすみタイマーが切れた後でも、最長4時間、お部屋の温度を見張り、室温が約2℃上昇しますともう1時間だけ自動的に運転します。
(1時間コース、2時間コース、3時間コース選択時のみ有効)
- 温度見張りを行なっているときは、タイマーランプが点灯します。
- おやすみタイマーが切れた直後より約1時間は室温が上昇しても再運転を行ないません。

設定を解除する場合は、同様の操作を行い「ピッピー」と受信音がして解除が完了となります。(一度設定変更を行なうとリモコンの電池を入れ替えたり、室内機の電源を抜き差ししても設定は変更されません)





■「適切な室温」が、からだにも家計にもグッド。

- 冷やし過ぎたり、暖め過ぎないようにしてください。健康上好ましくないうえ、電気代もムダになります。
- 窓のカーテンやブラインドを閉めれば、熱の出入りを抑えて、電気をより有効に使えます。

■ ときどき、お部屋の空気を入れ換えてください。

⚠ 注意 燃焼器具と同時に使う時は、必ず換気を行う

■ おやすみになるとき、外出するとき、タイマーの有効利用を。

(タイマーの使いかたはP11ページ)

■ 次のものは使わないで！（室外機も同様）

- ベンジン・シンナー・スポンジ・たわし・みがき粉などは、塗装面やプラスチック部品を傷めます。
- 40℃以上のお湯も使わないでください。フィルターが縮んだり、プラスチック部品が変形することがあります。



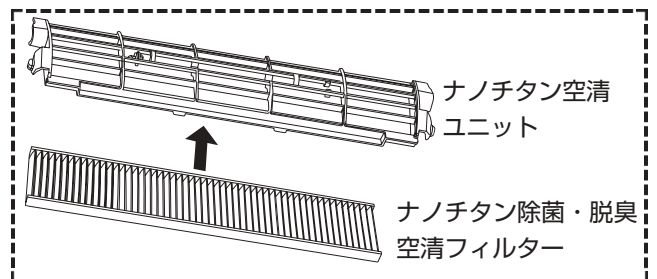
■ 吸い込み口・吹き出し口はふさがらないで！

- 室内・室外機の吸い込み口や吹き出し口をカーテンや他の障害物でふさがらないでください。性能が低下するばかりか、故障の原因になります。

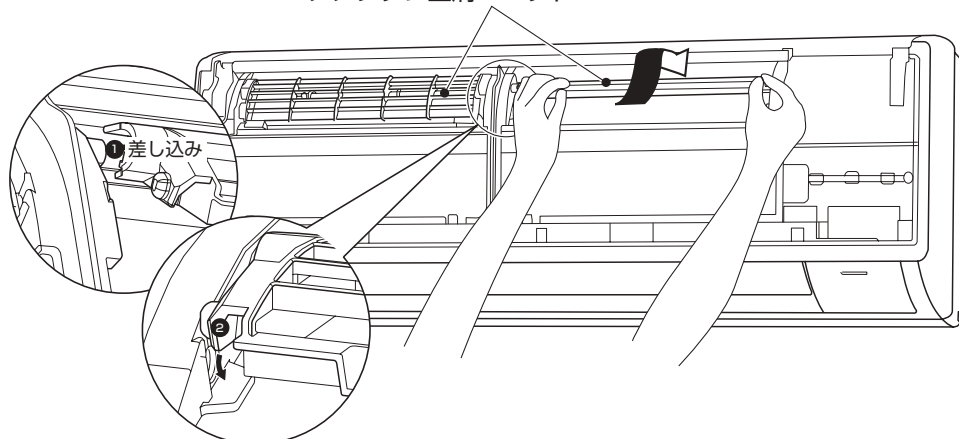
■ 別売りの「ナノチタン除菌・脱臭空清フィルター」を取り付けることができます。(P19ページ)

- ナノチタン除菌・脱臭空清フィルターは粒子の細かなナノチタン触媒が、小さな細菌をキャッチして除菌。汚れやニオイを除去します。
ナノチタン除菌・脱臭空清フィルターの働きで（通常の運転に空気清浄と脱臭機能がプラスされ）クリーンで快適な空間をつくれます。

- フロントパネルとプレフィルターを取り外します。
- ナノチタン除菌・脱臭空清フィルターをナノチタン空清ユニットに取り付けます。
- ナノチタン空清ユニットを取り付ける。



ナノチタン空清ユニット



故障かな？と思ったら



■サービスを依頼する前に … 次のことをお調べください。

送信しない 受信しない (リモコンの表示がうすい・表示がでない)	①リモコンが電池切れになっていませんか？	8ページ
	②乾電池の⊕⊖が逆になっていませんか？	
	③リモコンの信号が受信しづらい場合、照明が影響していませんか？ (部屋の照明を消して確認し、影響している場合は、販売店にご相談ください)	
運転しない	①電源スイッチまたは、漏電しゃ断器が“切”になっていませんか？	7ページ
	②電源プラグが差し込まれていますか？	—
	③ご家庭のヒューズやブレーカーが切れていませんか？	—
	④停電ではありませんか？(停電後は運転が停止したままとなります)	—
よく冷えない よく暖まらない	①プレフィルターにホコリが詰まっていますか？ (フィルターが目詰まりすると機械保護のため運転が停止することがあります)	12ページ
	②“設定室温”のセットは適正になっていませんか？	9ページ
	③上下風向板は、運転内容に合った正しい位置になっていませんか？	10ページ
	④室内・室外機の吹き出し口や吸い込み口を障害物などでふさいでいませんか？	—
	⑤風速が“微”になっていませんか？	9・13ページ

■これは故障ではありません。

運転ランプが点滅し、 風が止まる	<暖房運転開始> 暖かい風をお届けする準備をしています。そのままお待ちください。 <暖房運転中> 室外機についた霜をとかしています。そのままお待ちください。(6ページ) <運転切換のとき> 冷房から暖房に運転を切り換えたときに、保護回路または、予熱センサーが働くためです。
「シュルシュル」「シャー」 「ポコポコ」「プシュ」という音	冷凍液がパイプの中を流れる音と、流れの方向を切り換えるときの弁の音です。
「キシキシ」という音	温度変化でエアコン自体が膨張・収縮する音です。
「バサバサ」という音	運転開始時など、室内ファンの回転数が変わるためです。
「カタカタ」という音	電源投入時、電動弁が作動するときの音です。
「ポコポコ」という音	換気扇等により排水ホース内の空気が吸引され、露受皿の除湿水を吹き上げるときの音です。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。
運転音が変わる	室温の変化に応じて、運転パワーが変わるためです。
霧が出る	室内の空気がエアコンの冷気で急速に冷やされて霧になるためです。
室外機から湯気が立つ	霜取り運転で溶けた水が蒸発するためです。
においがする	室内の空気に含まれているタバコ・化粧品・食品などいろいろなにおいがエアコンに付着し、これが吹き出すためです。
“停止”にしても室外機が 動いている	オートフレッシュ除霜(“暖房”を停止するとマイコンが室外機の霜付き状態をチェックし、必要に応じて自動霜取り運転を指令する機能)が働いているためです。
設定室温にならない	在室人数や室内・室外の条件によっては、リモコンの設定室温と実際の室温に若干のズレが生じる場合があります。

- 以上のことをお調べになり、それでも具合の悪いときや下記のような現象が出たときは、電源プラグを抜き(またはブレーカーを“OFF”にして)、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。アフターサービスについては16ページをご覧ください。

こんなときは、すぐ販売店へ。

- ブレーカーやヒューズがたびたび切れる。
- スイッチの動作が不確実。
- 誤ってエアコン内部に異物や水を入れてしまった。
- コードの過熱やコードの被覆に破れがある。
- 室内機表示部のタイマーランプが点滅している。
(点滅回数で故障原因がわかりますので、電源プラグを抜く前に点滅回数をご確認の上ご連絡ください)

保証とアフターサービス (必ずお読みください。)

保証書

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げの日から1年間です。
(ただし、冷凍サイクル部分は5年間です)
なお、保証期間中でも有料になることがありますので保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

エアコンの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後9年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

転居されるときは

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

ご不明な点や修理に関するご相談は

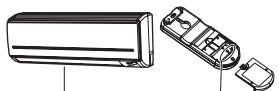
修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「お客様ご相談窓口」(裏表紙)にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは (出張修理)

15ページにしたがって調べていただき、なお異常があるときは、必ず電源プラグを抜いて(またはブレーカーを“OFF”にして)から、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■ご連絡していただきたい内容

アフターサービスをお申し付けいただくときは、下のことをお知らせください。

品名	日立ルームエアコン
形名	RAS-LJ28W/RAS-LJ36W/ RAS-LJ40W2/RAS-LJ50W2  形名表示 (銘板に表示) リモコン形名
お買い上げ日	年 月 日
故障状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	() -
訪問希望日	

■保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金 = 技術料 + 部品代 + 出張料
などで構成されています。

技術料

診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。

部品代

修理に使用した部品代金です。その他の修理に付帯する部材などを含む場合もあります。

出張料

商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合もあります。



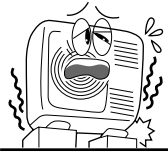
再据付工事のお申し込みは

販売店に再据付工事(転居または別の部屋への接続)を依頼する場合は、据付工事の繁忙期に当たる夏期は工事が遅れぎみになりますので、できるだけ避けるようお願いいたします。また、据付工事は専門の技術が必要です。費用など詳しいことは、お買い求めの販売店にご相談ください。

定期点検



■半年～1年に一度、定期的に次の点検を行ってください。もし、ご不審な点がありましたら、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

<p>コンセント</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？ <p>警告 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていなかったり、熱くなっていたりすると、感電や火災などの原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグにホコリの付着や汚れなどがある場合は掃除をしてから電源プラグを差し込んでください。
<p>アース線</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● アースが確実に行われていますか？ <p>警告 アース(接地)が正しく接続されているかを確認する アース線が外れたり、途中で切れたりすると、誤動作や感電などの原因になります。</p>
<p>据付台</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 据え付けが不安定になっていませんか？ <p>警告 据付台が極端に錆びている、あるいは室外機が傾いたりしていないかを確認する 室外機が倒れたり、落下したりして、けがなどの原因になります。</p>

点検整備

エアコンを数シーズン使いますと、内部が汚れ、性能が低下することがあります。



注意

通常のお手入れと別に点検整備を行う
室内機の内部にゴミやホコリがたまって、除湿水の排水経路を詰まらせ室内機から水たれを発生させることがあります。

- 通常のお手入れと別に、点検整備をお勧めします。



注意

点検整備は、お買い求めの販売店に依頼する
点検整備には専門技術を必要とします。市販の洗浄剤などを使用しますと、樹脂部品の割れや排水経路の詰まりに至ることがあり、水たれや感電の原因にもなります。

- 点検整備は、お買い求めの販売店にご相談ください。

強制冷房運転

(販売店で行う操作です)

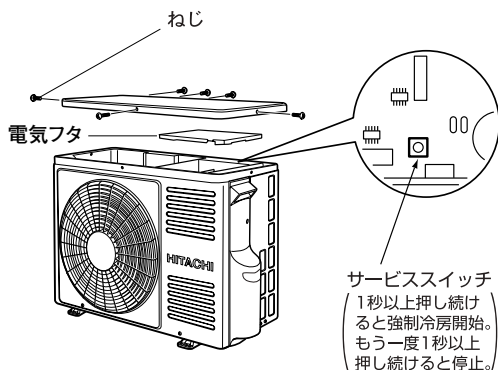
■ 室外機のサービススイッチをONさせると強制冷房になります。故障診断や室外機に冷媒を回収するときに使用してください。

- サービススイッチでの作業が終了したら、必ずスイッチを1秒以上押し続けて、強制冷房運転を止めてください。

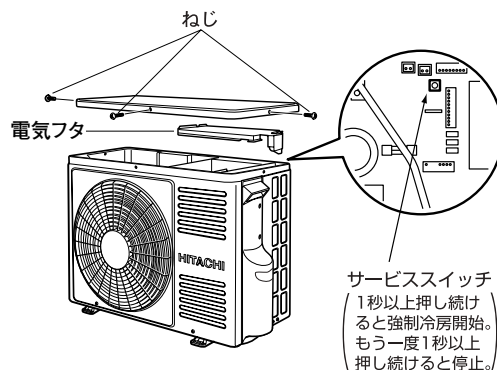


注意

サービスバルブのスピンドルを閉めた状態で5分以上運転しない

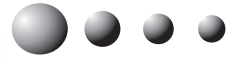


RAC-LJ28W、RAC-LJ36W



RAC-LJ40W2、RAC-LJ50W2

据え付けについて

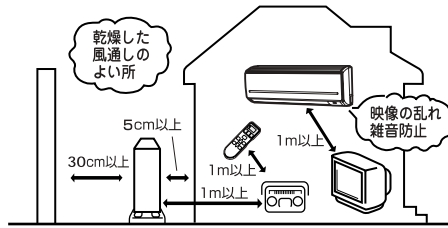


警告

- 据付工事や電気工事は専門の技術が必要なため、販売店に依頼する費用など詳しいことは、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 据付場所については、販売店とよくご相談して決める
- アース（接地）を確実にを行う
感電防止のほか静電気の障害や雑音を防ぐ効果もあります。

据付場所

- 室内機およびリモコンは、テレビ・ラジオやアンテナから1m以上離してください。1m以上あっても受信感度の弱い場合は、雑音が小さくなるまで離してください。



- 海浜地区で潮風が直接当たる場所や温泉地帯・油煙の多い所・電磁波を発生する病院や作業場・粉末や塵埃の多い工場など、周辺環境が特殊な場所でご使用になる場合は、お買い上げの販売店とよくご相談してください。



注意

- 室内機排水ホースからの除湿水、室外機排水口（下面）からの凝縮水が出るため、水はけのよい場所を選ぶ
- 可燃性ガスの漏れるおそれのある場所や、蒸気・油煙などの発生する所で使わない
引火や爆発のおそれがあります。
- 特殊な用途（例えば電子機器や精密機器の維持、食品・毛皮・美術骨董品の保存、生物の培養・栽培・飼育など）には使用しない
ルームエアコンは日本工業規格（JIS C9612）に基づき、一般の家庭でご使用いただくために製造されたものです。

電源について

- 電源は配電盤からエアコン専用についた回路をお使いください。

アースについて

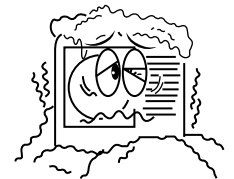


警告

- 万一漏電したときの感電防止のために、アース（接地）を確実にを行う
アース工事は「電気設備に関する技術基準」に従って行ってください。
アース（接地）を行うと、感電防止のほかに製品に触れたときに感じる静電気の障害や、リモコン操作時にテレビ・ラジオに入る雑音を防ぐ効果もあります。
詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。
- 次のような場所にアース線を接続しない
 - ① 水道管
 - ② ガス管
爆発のおそれがあります。
 - ③ 電話線のアースや避雷針
落雷のとき大きな電流が流れ危険です。
- 漏電しゃ断器を設置する
据付場所によっては、D種接地工事のほかさらに漏電しゃ断器を設置することが法規で義務づけられています。
詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

積雪について

- 室外機の吸い込み口や吹き出し口が雪でふさがれますと、暖まりにくくなったり故障の原因になったりします。積雪地では防雪の処置をお願いします。
詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。



騒音にもご配慮を

- 据え付けにあたっては、エアコンの重量に十分耐える場所で、騒音や振動が増大しないような場所をお選びください。
- 室外機の吹き出し口からの冷・温風や騒音が、隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。
- 室外機の吹き出し口付近に物を置きますと、機能低下や騒音増大のもとになりますので、障害物は置かないでください。
- エアコンを使用中に異常な音にお気づきの場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。



形 名		室内機	室外機	室内機	室外機	室内機	室外機	室内機	室外機	
		RAS-LJ28W	RAC-LJ28W	RAS-LJ36W	RAC-LJ36W	RAS-LJ40W2	RAC-LJ40W2	RAS-LJ50W2	RAC-LJ50W2	
電 源 (V)		単相100				単相200				
定 格 周 波 数 (Hz)		50・60共用								
冷 房	定 格 能 力 (kW)	2.8(0.9~3.3)		3.6(0.9~4.0)		4.0(0.9~4.5)		5.0(0.9~5.5)		
	定 格 消 費 電 力 (W)	585(230~1,195)		1,110(230~1,200)		1,090(230~1,300)		1,760(230~2,050)		
暖 房	運 転 電 流 (A)	6.5		12.3		6.1		9.8		
	運 転 音 (dB)	46	47	46	47	47	49	48	50	
	冷房面積の目安 (㎡)	鉄筋アパート南向き洋室	19		25		28		34	
		木造南向き和室	13		16		18		23	
暖 房	定 格 能 力 (kW)	3.6(0.9~4.6)		4.2(0.9~4.7)		5.0(0.9~7.3)		6.3(0.9~8.0)		
	定 格 消 費 電 力 (W)	715(190~1,080)		960(190~1,120)		1,235(190~2,200)		1,785(190~2,410)		
暖 房	運 転 電 流 (A)	7.9		10.7		6.9		9.9		
	運 転 音 (dB)	46	47	46	47	47	50	47	50	
	暖房面積の目安 (㎡)	鉄筋アパート南向き洋室	16		19		23		29	
		木造南向き和室	13		15		18		23	
通年エネルギー消費効率 (APF)		5.0		4.5		4.4		4.2		
外形寸法(mm)(高さ×幅×奥行)		280X780X210	548X750X288	280X780X210	548X750X288	280X780X210	600X792X299	280X780X210	600X792X299	
製 品 質 量 (kg)		8.0	29	8.0	29	8.0	37	8.0	42	

- この仕様表は、JIS（日本工業規格）に基づいた数値です。
- 運転停止中の消費電力は、1Wです。（電源スイッチまたはブレーカーOFF時は0W）
- （ ）内は能力・消費電力の可変幅を表示しています。

主な付属部品

部 品 名	個 数	備 考
リモコン	1	型式：RAR-3J1
リモコン取付ねじ	1	
リモコン用乾電池（単4）	2	モニター用乾電池のため、乾電池の交換が早くなる場合があります。

主な別売部品

部 品 名	型 式	備 考	希望小売価格
※ナノチタン空清ユニット 	※SP-VCF9W	・初回用（ナノチタン空清ユニット同梱） ・1セットで約2年間ご使用になれます。 （2枚で1セット）	1,890円（税込）
ナノチタン 除菌・脱臭空清 フィルター 	SP-VCF9	・2回目以降用（フィルターのみ） ・1セットで約2年間ご使用になれます。 （2枚で1セット）	1,575円（税込）
リモコン ホルダー 	SP-RH-2		525円（税込）

- 価格は2006年4月現在の消費税率を基に総額表示を行っています。
- 商品によっては品切れ、仕様変更の場合がございますので、販売店にお問い合わせください。

お客様ご相談窓口



日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は

TEL 0120-3121-68

FAX 0120-3121-87

(受付時間) 365日/9:00~19:00

商品情報やお取り扱いについてのご相談は

TEL 0120-3121-11

FAX 0120-3121-34

(受付時間) 9:00~17:30 (月~土)、9:00~17:00 (日・祝日)

年末年始は休ませていただきます。

携帯電話、PHSからもご利用できます。

- お客さまが弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただきます。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただきます。
- 出張修理のご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただきます。

愛情点検



●長年ご使用のエアコンの点検をぜひ！

このようなことは
ありませんか

このようなことはありませんか

- こげ臭いにおいがする。
電源コード・プラグが異常に熱い。
- 運転音が異常に高くなる。
- 室内機から水漏れがする。
- 漏電しゃ断器が頻繁に落ちる。
- その他の異常や故障がある。

コンセントから電源プラグを抜いて（またはブレーカーを“OFF”にして）必ず販売店に点検・修理をご相談ください。費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。

廃棄時にご注意願います。

2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのエアコンを廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

お客様メモ

購入年月日・購入店名を記入しておいてください。サービスを依頼されるときに便利です。

お買い上げ日	年 月 日	形名	
購入店名	電話 ()		

 日立アプライアンス株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12

RAS-LJ28W [Ⓐ]
RAS-LJ36W
RAS-LJ40W2
RAS-LJ50W2

RAS-LJ28W
RAS-LJ36W
RAS-LJ40W2
RAS-LJ50W2

HITACHI 日立ルームエアコン据付説明書

●据付工事前にお読みになり正しく据え付けてください。
●お客様さまに操作方法を取扱説明書より説明してください。

- 室内機**
RAS-LJ28W形+RAC-LJ28W形
RAS-LJ36W形+RAC-LJ36W形
RAS-LJ40W2形+RAC-LJ40W2形
RAS-LJ50W2形+RAC-LJ50W2形
- 室外機**

- 据付工事に必要な工具 (※R410A専用工具)**
- ドライバー ●巻き尺 ●ナイフ ●ペンチ
 - パイプカッター ●六角棒(挿入 挿4) ●Pカッター
 - φ65mmホールドドリル ●真空ポンプ
 - スズパ (口径12, 14, 17, 19, 22mm) ●トルクレンチ
 - フックアダプタ ●フリアリソックス ●ガス漏れ検知器
 - マニホールドリル ●チャージホース

お使いになる人や他人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りください。次に、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った据え付け方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告 この表示の欄は、「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。

注意 この表示の欄は、「傷害を負うおそれまたは物的損害を生じるおそれがある」内容です。

●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、この据付説明書は、取扱説明書とともにお客様が保存できるように依頼してください。

警告

- 据付工事は、お買上げの販売店または、専門業者に依頼すること。ご自分で据付工事をされれば、水漏れや感電・火災の原因になります。
- 据付工事は、この据付説明書に従って行われ、据え付けに不備があると、水漏れや感電・火災の原因になります。
- 据え付けは、重量に十分耐える所で確実に行う。強度不足や据え付けが不完全な場合は、室内機・室外機の落下により、けがの原因になります。
- 電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および、国の規格に従って正しい。必ず専門業者による電気設備工事業者による電気工事を行ってください。感電や火災の原因になります。
- 接続ケーブルの配線は、途中接続やより線の使用は必ず所定のケーブルを使用して確実に接続する。端子接続ケーブルの外力が伝えないように確実に固定する。接続ケーブルが不完全な場合は、感電や火災の原因になります。
- 設置工事の際は、必ず付属部品及び指定の部品(別売部品等)を使用する。当指定部品を使用しないと、室内機・室外機の落下・水漏れ・感電・火災および運転音や振動が大きくなる原因になります。
- エアコンの設置や移動の場合、冷凍サイクル内に指定冷凍(R410A)以外の気体などを注入させない。空気などが混入すると、冷凍サイクル内に異常高圧となり、破裂やけがなどの原因になります。
- 配管・フリアリソックスは、必ずR410A指定のものを使用する。破裂やけがなどの原因になります。
- フレアナットはトルクレンチを使用し、指定のトルクで締め付けること。フレアナットを締め付け過ぎると、長期経過後フレアナットが割れて水漏れの原因になります。
- 作業中に冷媒ガスが漏れた場合は、換気を行う。冷媒ガスが気化されると、有毒ガスが発生する原因になります。
- 設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する。冷媒ガスが室内に漏れ、フリアリソックス・フックアダプタなどの火災に燃えると、有毒ガスが発生する原因になります。

注意

- アース(接地)を確実に行う。アース線はガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しない。
- 冷媒回収(ポンプダウン)作業では、冷媒配管を外す前に圧縮機を停止する。圧縮機を運転したまま、サービスバルブ開放状態で冷媒配管を外すと空気などを吸引し、冷凍サイクル内に異常高圧となり、破裂・ケガなどの原因になります。
- 据取り作業では、圧縮機を運転する前に、確実に冷媒配管を取り付ける。冷媒配管を取り付けられず、サービスバルブ開放状態で圧縮機を運転すると、空気などを吸引し、冷凍サイクル内に異常高圧となり、破裂・ケガなどの原因になります。
- 電源コードの加工・途中接続・タコ足配線はしない。接続不良・絶縁不良・許容電流オーバーにより、火災や感電の原因になります。
- 接続ケーブルの配線は、端子カバーが押しきれるように整形し、カバーを確実に取り付ける。端子接続部の発熱、火災や感電の原因になります。
- 電源プラグを差し込む際は、電源プラグが端子カバーにホコリが付着・詰まり・かたつきがないことを確認し、別途付属品に記したホコリの付着・詰まり・かたつきがある場合、感電・火災の原因になります。コンセントにかたつきがある場合は、交換してください。

注意

- 設置場所によっては漏れ電線や断線を取り付ける。漏れ電線や断線を取り付けられないと、感電の原因になります。
- 可燃性ガスの漏れを恐れのある場所へは設置しない。万一ガスが漏れて室内が燃焼する原因になります。発火の原因になります。
- 排水工事は、据付説明書に従って、確実に排水を行う。排水管が室内に漏れ、室内に浸水し財などを濡らす原因になります。

据付場所の選定

(下記の点に注意し、お客様との同意を得て据え付けてください)

警告 ●本体を十分ささげられ、振動が出ない、強度のあるところに据え付ける

注意

- 近くに熱の発生がなく、吹き出し口付近をふさがないこと
- 本体の上・左・右に下図の「<>」印の間隔をあけらるること
- ドレン排水が容易にでき、室外機と配管接続ができること
- 室内機およびリモコンはテレビやラジオから1m以上離す
- 周囲の乱れや雑音が入ること
- 高層階・高圧力の配管・配線が近くにないこと
- 電子点灯式の照明器具がある場合は、要部距離を確保することがあり、場合によっては信号を受け付けないことがあります。

警告 ●室外機の重量に十分耐える場所に、騒音や振動が増大しないように据え付ける

注意

- 雨や直射日光があたりにくい風通しのよいところ
- 吹き出し口が他の建物や物陰にあたりないこと
- 本体の上・左・右に下図の「<>」印の間隔をあけられ、3面以上開放できること
- 吹き出した風や騒音が近所の方にいかないこと
- 強風の当たらない場所
- 近所との境界線が、室内機・室外機が設置できること
- 室外機ベランダの手すりに近寄って設置しない
- 高層階などベランダに設置される場合は、お子様が室外機の上に入り、手すりを取り除き、落下の危険にさらされることがあります
- 近所との境界線が、室内機・室外機が設置できること
- 吹き出したドレン排水が近所の方にいかないこと
- 室外機およびケーブルはテレビ・ラジオ・インターホン・電話などのアンテナ線や電線、電線コードなどから1m以上離す。ノイズ影響をおよぼす場合があります。

番号	付属部品	員数	番号	付属部品	員数	番号	付属部品	員数
1	据付板	1	4	リモコン取付ねじ	1	7	保冷用断熱材	1
2	据付板固定ねじ	5	5	リモコン	1	8	ブッシュ	1
3	乾電池(単4)	2	6	電源スイッチ固定ネジ	1	9	ドレンパイプ	1

※⑧は室外機に同梱
※⑨はLJ40W2、LJ50W2は2個同梱しています。

室内・室外機据付(平地台設置例)

電源コードの長さ
約0.4m 約1.1m
電源コードは絶対に改造しないでください。

配管引出し方向
横引き・背出し
縦引き・背出し
横引き・背出しは、左右どちらの向きにも可能です。

室外機の固定寸法
RAC-LJ40W2, RAC-LJ50W2
RAC-LJ28W, RAC-LJ36W

断熱材の接続
断熱材を室内機と室外機の間を断熱材用断熱材(サービスパーツ品RAS-2210MX Q39)を使用します。

断熱材の長さ
SP-EB-1 450mm
SP-EB-2 900mm (D種据付工事推奨品)

室内機の据え付け

1 据付板の取り付け・壁穴あけ・保護パイプの取り付け

注意 ●本室内機はドレンホースを左右どちらにも取り付けられる構造となっています。室内機を据え付ける際は、必ず水平または、ドレンホースを取り付けられる側を若干下に傾けて据付板を固定する。ドレンホースを取り付けられる側を上方に傾けて据え付けられた場合、水漏れとなる恐れがありますのでご注意ください。

壁に直付する場合

- 壁内の構造(隠しなど)をさがして、据付板を固定します。
- 隠しなどをさがすのが困難なときは、ボードアンカー(市販品)等をご使用ください。
- 図Aアパート用を使用する場合は、アンカーボルトの壁からの出張り寸法が15mm以下になるようにカットしてください。

回り縁と鴨居に据え付ける場合

- 回り縁と鴨居間の寸法Hに合わせ、据付板とたてさん上下を仮組みします。
- 回り縁と鴨居を利用してたてさん上下を仮組みします。
- 水平を確認してから固定します。

たてさん(鴨居) (下のねじはたてさんに同梱しています)

たてさん(鴨居) (下のねじはたてさんに同梱しています)

壁穴あけおよび保護パイプの取り付け

●壁穴は据付板の下カバーを当てることにより、位置を決めることができます。

●保護パイプ(市販品)は必ず使用する。接続ケーブルが壁の中のダクトに接触したり、壁が中空の場合、おすみにかじられたり感電や火災の原因となります。

●パテで完全にシールする。壁内や室外の高温空気が室内に侵入し濡れた原因になります。また壁内や室外の臭いが室内に入ります原因となります。

2 室内機の据え付け

1 据え付けの準備

下カバーの取り外し

●下カバーは2部を押しつつ1部を支点として回転させて取り外します。

下カバー・ブッシュ部の切断(横引き・下引きの場合)

●右または左、あるいは下引き配管時は下カバーのブッシュ部をPカッター等で取り外し、やすりで体積よく仕上げてください。

ドレンホースの付け替え(横引きの場合)

●ドレンホースとドレンキャップは確実に挿入する。挿入が悪いと水漏れの恐れがあります。

注意

- ドレンホースとドレンキャップは確実に挿入する。挿入が悪いと水漏れの恐れがあります。
- 左側にドレンホースを付け替える場合は、周囲の部品に注意してください。

室内機の据え付け(つつき)

1 配管の準備

配管を接続してから据え付ける場合(横引きの場合)

- ケーブルを準備します。
- 裏面のケーブルの接続方法を参照。
- 冷媒配管を壁に直付に合わせ整形し接続します。
- 配管接続部は断熱材の上にして隙間のないようにテープ巻きします。
- テープは締め過ぎないように巻きます。
- ケーブル・配管を整形し、室内機背面の下部スペースに納め、取りまがしはバインダー等を背面フックに引掛け固定します。

室内機の背面で冷媒配管を接続する場合

- 冷媒配管とケーブルを整形しセッットします。
- 冷媒配管を壁に直付に合わせ整形し接続します。
- 配管接続部は断熱材の上にして隙間のないようにテープ巻きします。
- テープは締め過ぎないように巻きます。
- ケーブル・配管を整形し、室内機背面の下部スペースに納め、取りまがしはバインダー等を背面フックに引掛け固定します。

2 据え付け

室内機の背面で冷媒配管を接続する場合

室内機を据付板に引っかけます。室内機背面右側に継ぎ材または、ダンボールなどをさしこみ、室内機の下部を事前に150mm以上浮かします。

室内機の背面以外で冷媒配管を接続する場合

●据付板の上部を据付板に引っかけます。

●冷媒配管を接続します。(裏面の配管の接続を参照)

●配管接続部は断熱材の上にして隙間のないようにテープ巻きします。

●ケーブルを接続します。(裏面のケーブルの接続方法を参照)

●ケーブル・配管を整形し、室内機背面の下部スペースに納め、はさんだ物を外し、室内機下部を据付板の固定爪にはこみまします。

3 配管の断熱と仕上げ

●配管接続部は断熱材で覆い、隙間のないようテープ巻きします。

●テープは締め過ぎないように巻きます。隙間が残り締め過ぎると濡れた原因になります。

●ドレンホースと配管をテープ巻きし、壁に固定します。

●ドレンホースと配管が接触する場合は、雷付防止のため保冷用断熱材(サービスパーツ品RAS-228FX107)で覆い断熱の強化をします。

注意

- 配管の断熱材のヒールテープ巻きは締め過ぎないこと。断熱効果なくなり濡れが付きやすいため、締め過ぎないように巻いてください。
- 室内機の下部を事前に引っかけた据付板に室内機の爪がはかまるとはなりません。はかまるとはなりません。室内機の振動が大きくなる原因となります。
- 配管接続部は、配管テープの下部部を手でささえながら、整形してください。

4 排水の確認

据付終了後ドレンホースの排水の有無を確認してください。

室内機の据え付け後、水は確実に排水されることが確認してください。(確認を怠ると水漏れの恐れがあります)

●排水性の良い排水管や換気扇を使用してください。

●ドレンホースがゴキブリや害虫の発生原因となります。そのような場合は、ドレンホース(サービスパーツ品RAS-2810K Q39)を使用してください。

注意

- ドレン工事は、確実に排水できるように配管し、必ず排水の確認を行う必要があります。水漏れはなりません。
- 右のような不備がないことを確認する。ドレン詰まりをおし、水漏れとなります。
- ドレンホースは1/25以上の勾配を確保すること
- 壁配管などでドレンホースをドレン管に挿入する場合、ドレンホースを途中で切断しない。ドレンホースの断熱性が低下し、水漏れの原因となります。
- 断熱材と、臭気ガスが発生する場所にドレンホースを掛けない(左図を参照)
- 臭気ガスが発生し、室内の臭気や、配管を腐敗させることがあります。

